

学位論文要旨

学位論文題目 日本における看護師不足と中国人看護師受け入れの実態と展望
— 日中の看護労働市場と看護人材養成システムの比較分析 —

申請者氏名 韓慧 (かん けい)

1. 研究背景と目的

近年、日本では少子・高齢化の進展や医療技術の進歩により看護師へのニーズが高まる一方、看護師不足問題はますます深刻になっている。日本政府は、看護人材確保対策を打ち出したが、効果が薄かった。また、EPA に基づくインドネシアやフィリピンからの看護師の受け入れは、言語、生活習慣や文化などの問題が生じ、特に就職要件である看護師国家試験の合格率が低く、順調に進んでいるとはいえない。そこで、日本と同じ漢字文化圏で、生活習慣や文化などの違いが比較的少ない中国の看護師を日本に受け入れることは、日本の看護師不足問題の解決に貢献できるほか、日中看護人材交流を活発化させることができると考えられる。実際、ここ数年の間に、中国人看護師の受け入れは急増し、医療機関の活性化につながるケースが現れている。

このようなことを背景に、本研究の目的として、まず日本における看護師不足問題の実態を明らかにする。次に、看護師の国際移動に関する先行研究の文献サーベイを行い、日本のEPAによる外国人看護師受け入れの実態を考察した上で、日本における中国人看護師受け入れの現状を明らかにする。第3に、日中の看護師養成教育システムの比較分析を行い、日中看護人材の質がマッチしているかどうかについて考察する。最後に、中国の看護労働市場構造を把握することによって、今後の中国人看護師受け入れの方向性や意味、問題点を探る。

2. 研究方法

第1の日本における看護師不足問題の実態を明らかにするという目的に対しては、既存の資料やデータの収集・集計を行った。これを通して、立地・設置主体・病床規模などによる医療施設の看護師偏在及び不足、高い離職率や潜在率、過酷な労働条件問題などを明らかにした。

第2の日本における中国人看護師受け入れの実態を考察する目的に対しては、まず看護師の国際移動に関する先行研究の文献サーベイをした上で、看護師の国際移動の影響要素をまとめ、諸外国における外国人看護師受け入れ体制を考察した。続いては、既存データの収集分析によって日本のEPAによる外国人看護師受け入れの現状と問題点を明らかにした。中国人看護師の受け入れの現状を把握するために、次のような研究方法を採用した。まずは、希少ではあるが、既存の公表データを収集分析することによって、中国人看護師受け入れをNPO法人組織などの機関経由の受け入れ、日本語学校経由の受け入れ、看護専門学校経由の受け入れの3つのパターンにわけ、受け入れ条件、流れ、かかる費用などから述べた。次に、中国人看護師を受け入れている医療機関や就職している中国人看護師をそれぞれ調査対象と

して、独自のアンケート調査及び面接調査を行った。

第3の目的である日中の看護師養成教育システムの比較分析を行うために、先行研究の文献サーベイをした上で、看護教育制度や看護カリキュラム、資格試験などの側面から比較分析をした。

第4の中国の看護師労働市場構造を把握する目的に対しては、先行研究の文献サーベイや中国での看護師アンケート調査を行い、それらの分析を通して、中国の看護師労働市場構造を把握し、その問題点を明らかにした。

3. 論文の構成

まず序章では、問題の提起と先行研究の整理を行った。そして、論文構成について述べている。論文構成は以下の通りである。

第一章では、主にマクロデータを用いて、日本の医療現場における看護師不足の実態を明らかにしている。同時に、看護師の離職と離職理由、さらに資格を持ちながらも就職しない潜在看護師の問題に焦点を当てることで、日本における看護師不足問題の特徴を浮き彫りにしている。これに加えて、これまでの看護師不足問題に対する政府の政策についても分析・評価している。

第二章では、看護人材の国際移動に関する先行研究の成果の上に、看護師の国際移動の影響要素である「プッシュ要因」「プル要因」「媒介要因」の役割についてまとめている。続いて諸外国における外国人看護師の受け入れ体制を考察し、日本の外国人看護師の受け入れに対する示唆を探っている。

第三章では、日本のEPAによる東南アジアからの看護師受け入れの現状に焦点を当て、日本の外国人看護師受け入れ体制の問題点を明らかにしている。

第四章では、日本における中国人看護師受け入れに関する資料の分析を行うと同時に、受け入れの実態を把握するため、受け入れ医療機関と日本国内の中国人看護師を対象にアンケート調査及び面接調査による実態調査を行い、その問題点を浮き彫りにしている。

第五章では、主にマクロデータを用いて、日中の看護師養成システムの比較分析を行い、日中看護人材の質がマッチしているかどうかを検討している。

第六章では、中国の看護師の労働市場構造についてマクロデータ分析及び中国国内の中国人看護師に対するアンケート調査及びその分析を通じて考察し、日中間の看護師の労働移動の意味や問題点について考察している。

最後に、以上をまとめ、結論を述べている。

4. 今後の課題

中国人看護師の受け入れは、今後日本の外国人看護師受け入れプログラムの中で、重要な位置をしめることがわかった。中国人看護師受け入れに関する研究の今後の課題として、以下の2点が挙げられる。

- ① 日本におけるより大規模なアンケート及び面接調査の必要性。
- ② 現段階では、中国人看護師受け入れに対して政策体系も方向性もはっきりしていないため、今後、政策を綿密に追跡していく必要がある。